

茨木市文化振興財団ダンスプロジェクト 2016

コミュニティダンス体験ワークショップ

2016. **3.21** 【月休】 ①10:30~12:30 家族コース
②14:00~16:00 一般コース

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・2F 多目的ホール

◆家族コース

「絵本を踊ろう！」

◎ナビゲーター:伴戸千雅子(ばんど・ちかこ)

～「なる」こと、「見立てる」こと。

家族で育みあう3つのS(想像・創造・即興)のチカラ～
からだを動かすのは、筋肉や骨ばかりではありません。

感じて(想像)、作って(創造)、やってみる(即興)。

この3つのSのチカラが大きなエネルギーの源でもあります。

このワークショップは、石ころに「なる」こと、そして人を石ころに「見立てる」
ことから始まります。

さて、この石ころはどんなものに出会い、どんな冒険をするのでしょうか。

からだの声を聞きあい、時には子どもたちの想像に身をゆだねながら、
からだから始まるお話をつむいでいきましょう。

家族のダンスを作れたらいいと思います。

◆日時

3月21日(月休) 10:30~12:30(開場は30分前)

◆募集対象・定員

10家族(30人程度)。夫婦、父子、母子、父母子、祖父母孫など
家族単位でお申し込みください。年齢、性別、ダンス経験は問いません。

◆受講料

1,000円/1家族

◆一般コース

「踊ろう! IBADAN!!」

◎ナビゲーター:砂連尾 理(じゃれお・おさむ)

楽しい音楽が流れると身体は自然と動きますし、愉快地に踊っていると
つついづい口ずさんでしまいます。

人類は太古の昔から音楽とダンスを愛し、その両者は切っても切れない
関係にあります。

そんな訳で、今回のワークショップではダンスの根源的な楽しみに立ち
戻り、純粋に音楽に合わせて身体を動かす楽しみを味わってみましょう!

さて、このワークショップのために楽曲を提供してくれるのは京都を中心
に活躍するミュージシャンのぶつぐ(大畑省吾)さんです。

彼の作曲した茨木にまつわる茨木ソングに歌詞と振りを考えて、皆で一
緒に茨木の踊り=IBADANを踊りましょう!

さあ、Let's Dance! IBADAN!! ”

◆日時

3月21日(月休) 14:00~16:00(開場は30分前)

◆募集対象・定員

小学生以上の方30人程度。ダンス経験は問いません。

◆受講料

500円/1人

※いずれも動きやすい服装でご参加ください。また、上履き、水分補給のための飲み物をご持参ください。

★1月15日(金)9:00 電話予約開始/定員に満たない場合は翌日から窓口受付開始/チケットをお求めください(当日のご精算もお受けします)

★お申込み・お問合せ:(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00~17:00)

1月15日(金)は電話予約のみ。チケットのお引き取り、窓口販売は翌日から下記のチケットカウンターで。

●クリエイトセンターチケットカウンター9:00~17:00 ●福祉文化会館3階チケットカウンター9:00~17:00

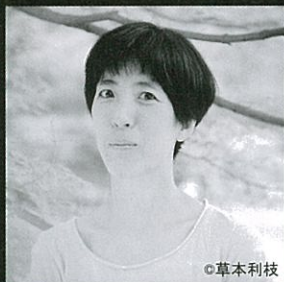
コミュニティダンスとは、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、一般の人々がダンスアーティストとともに地域や教育現場などで行う創造的な表現活動の総称です。茨木市文化振興財団では、「体を動かす楽しさ」「表現する楽しさ」「交流する楽しさ」をあらゆる世代の方に体感していただくことを願い、今年もこのダンスプロジェクトに取り組みます。今回も〈家族コース〉と〈一般コース〉の二つの体験ワークショップを開催します。いずれも、入門編となっていますので、踊ったことがない方もお気軽にご参加ください。一緒に良い時間を過しましょう！

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

ナビゲーター★プロフィール

★伴戸千雅子(ばんど・ちかこ)

振付家・ダンサー



© 草本利枝

演劇、バリ舞踊、舞踏を学び、1989-2011年ダンスグループ「花嵐」で活動。近年は、ミュージシャンやパフォーマーと即興セッションや作品づくりを行う。15年、子育て、性、介護をテーマにした舞台「おしもはん」を企画・演出。アーティストと一般の人がコラボレーションして作品を作り上げた。

04年から視覚障害など、さまざまな障害をもった人、子どもや母親を対象にした身体ほぐしや、「なんちゃってアフリカン」「細胞になっているのちの誕生の仕組みをなぞる」など、ちょっとユニークな切り口のダンスワークショップを企画、講師をつとめる。京都看護専門学校「ボディワーク」講師。

カラダをほぐすと、ココロも軽やかになる。自分のカラダを再認識したり、カラダを通して人と出会ったり。カラダをテーマに新しい発見が生まれる場づくりに取り組んでいきたい。

<http://chikakobando.jimdo.com/>

★砂連尾 理(じゃれお・おさむ)

振付家・ダンサー



大学入学と同時にモダンダンスを始める。91年、寺田みさことダンスユニットを結成。93年～94年、ニューヨークにダンス留学。02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」(グランプリ)、「オーディエンス賞」をW受賞。04年、京都市芸術文化特別奨励者。08年度文化庁・在外研修員としてドイツ・ベルリンに1年滞在。

近年はソロ活動を中心に、ドイツの障がい者劇団ティクパとの「Thikwa + Junkan Project」(ドラマトウルク：中島那奈子)、舞鶴の高齢者との「ととつダンス」及び「ととつダンス part.2-愛のレッスン」、音楽家・野村誠との「家から生まれたダンス」、宮城県名取市閑上(ゆりあげ)の避難所生活者の取材を元にした「猿とモルターレ」、濱口竜介監督映画「不気味なものの肌に触れる」への振付・出演など多方面に精力的な活動を展開している。

また、「ととつダンス」創作の際の言葉が鷺田清一「折々のことば」/朝日新聞連載で紹介される。

立命館大学、神戸女学院大学非常勤講師。

<http://www.osamujareo.com/>

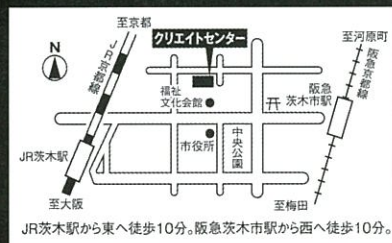


★会場

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・多目的ホール

※床はフローリングです。土足禁止のため上履きが必要です。
更衣室はございます。

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩10分。